

院内及び駐車場警備業務委託

仕様書

社会福祉法人 恩賜
財団 済生会支部
福岡県済生会大牟田病院

令和6年4月

- ・ 委託期間

2024年4月1日から2027年3月31日までの期間

1. 目的

病院構内における安全・安心などを確保するため関係法規（警備業法、消防法、遺失物法等）に基づき施設保安管理業務を行う。

警備員は診療時間外及び休日共に1名の配置により行い、病院の特殊性を踏まえ、当該仕様書に基づき、災害対応・盗難の予防・消防用設備等の巡視・不審者対策その他各種事故の未然防止に万全を期し、施設の保全に当たるものとする。

2. 受注者の資格

警備業法（昭和47年法律第117号）第3条各号に掲げる者のいずれにも該当せず福岡県公安委員会の警備業認定を受けている者とする。

3. 業務範囲

（1）人員

院内警備及び駐車場警備の勤務時間は、次のとおりとする。

- ・ 院内警備

A 平日勤務（夜間） 1名 17:00 ～8:30

B 土日祝日（24時間） 1名 8:30 ～8:30

- ・ 駐車場警備

月～金勤務（昼間） 1名 8:00 ～12:00

（２）警備業務

病院建物内外を制服着用し、次の任務を行う。

ア 院内警備に関する事項

- （ア）院内からの緊急要請への対応および連絡
- （イ）不明者等の搜索・身柄の確保
- （ロ）病院関係者等の安全確保
- （ハ）巡回経路による巡視
- （ニ）時間外（救急）出入口の暗証番号更新（毎月１日）

イ 災害防止等に関する事項

- （ア）施錠、解錠および鍵の管理
- （イ）火気使用箇所の不始末事項の点検・通報
- （ロ）消防用設備等の外観点検
- （ハ）火災発見時の通報その他の処置
- （ニ）防災上支障となる事項に対する通報処置
- （ホ）照明等の点灯・消灯確認
- （ヘ）設備機器異常時の対応
- （セ）設備機器異常時の対応（事務当直と連携）
- （ケ）防災システムの確認
- （コ）防災時の対応
- （サ）消防訓練時の館内放送（必要時）
- （シ）夜間及び土・日・祝日における業者対応

ウ 盗難防止等に関する事項

- （ア）不審者、徘徊者等の発見時の通報および一般者からの隔離
- （イ）盗難事故発見時の通報その他の処置

(3) 案内業務等

- ア 正面入口での患者および見舞者の誘導案内
- イ 病院玄関周辺および非常口周辺の動線確保
- ウ 駐車場の運用管理に関する事項
- エ 救急車、葬儀車両（霊柩車）来院時の誘導案内
- オ 入院患者死亡時の霊安室への案内及び開錠等（必要時）
- カ 病院休診日の患者や入院患者家族の出入りに伴う、時間外（救急）出入口の施錠及び開錠、インターホンの対応
- キ 患者・面会者・来客者の窓口対応
- ク 患者・家族等照会対応
- ケ 館内放送対応

(4) (2)、(3) 以外の業務

巡視点検、ホール等警備以外は、夜間業務員室にて防犯カメラ装置等にて監視業務を行う。また、有事の際や冷暖房ボイラーの切替、正月・天皇誕生日・創立記念日における国旗・済生会旗の掲揚及び降納等、病院関係者等の指示ある時は、的確に対応すること。

4. 警備勤務計画表および警備員名簿

- (1) 受託者は、1 か月ごとの勤務割振の計画表を当病院に提出すること。
- (2) 受託者は警備員名簿および各人の履歴書（写真貼付）を提出して承認を得るものとする。なお当病院において業務遂行が困難と認めた警備員は、受託者と協議の上交代することができるものとする。

5. 警備員の健康管理等

- (1) 受託者は、業務従事者の健康管理に留意し、年1回健康診断を受けさせるものとする。
- (2) 受託者は、業務従事者に感染症を疑わせる症状（咳、発熱、発疹、持続的な下痢、嘔吐など）が出現した場合は、就業を避けて速やかに受診させ、その結果を当病院へ報告するものとする。
- (3) 受託者は、業務従事者にインフルエンザ流行時期前にワクチン接種することとする。
- (4) 受託者は、業務中に被害があった場合には、速やかに当病院に申出をし、指示に従うこと。

6. その他

- (1) 受託者は、病院における警備業務の契約実績があること。
(現業者は除く)
- (2) 業務の特性上、迅速な対応が必要となる場合がある為、当院と協議をした上で検討する。また業務引継ぎにおいて落札者は、スタッフの確保や研修等仕様に定めた成果物等の履行が不十分にならぬよう努めること。
- (3) 受託者は、福岡県公安委員会の警備業認定証を取得していること。
- (4) 受託者は、法令、病院規程その他の院内規則を遵守しなければならない。
また、業務従事者の服装、接客マナー、勤務態度、風紀ならびに衛生等について監督責任をもつとともに、ビデオ聴講等による法令研修への参加を指導すること。なお受託者が監督官庁より指導や行政処分を受け、または罰則の対象となった時は、速やかに病院に報告しなければならない。
- (5) 受託者は、警備員の制服および勤務態度について万全の管理を行うもの

とする。

(6) 警備員は、施設警備業務、消防業務等に精通していること。

(警備業法に定める教育受講者等)

(7) 警備員は、病院の特殊性を十分認識し、接遇には細心の注意を払い業務を行うこと。

(8) 警備員は、災害時又は盗難発生時における入院患者・見舞客・職員などの安全環境の確保ならびに緊急時における対応、関係先への連絡および警察・消防機関への通報、要請および報告をすること。

(9) 警備員は、当病院で実施する防火・防災訓練に参加すること。

(10) 警備員間の業務の引継ぎは日誌にて行い、平日の毎朝、当病院に提出すること。

(11) 受託者は、業務完了報告書を毎月提出すること。事故、盗難等の場合は、当病院に随時報告すること。

(12) 警備業務に係る苦情等は、事務部で受付する。

(13) 警察・消防等に通報が必要な場合は、緊急連絡の上、現場を封鎖する等の処置を適切に行うこと。

(14) 見回りの運用や工事等に伴う巡回ルートの変更等は、病院と協議すること。

(15) 院内トラブルについては、医師、看護師等の指示に従って対応すること。

(16) 受託者は、個人情報の保護に関し、別紙「個人情報取扱特記事項」を遵守すること。

(17) 本仕様書に明示がないものの、本業務の実施上必要と認められるものについては、業務に隙間が生じ当院の運営に支障が出ることが無いよう、当院と協議の上、実施するものとする。